

2016年 日本リンパ網内系学会教育委員会報告書

2016年9月1日 16時～17時 くまもと県民交流館パレア・ホテル日航

1. メンバー紹介

委員長 鈴宮淳司（島根大学病院・腫瘍センター）

副委員長 田丸淳一（埼玉医大総合医療センター・病理）（留任）

委員（会計担当）浅野直子（長野県立須坂病院・遺伝子検査科）

委員 錦織桃子（京都大学・血液・腫瘍内科）

委員 橋本優子（福島県立医科大・病理）

委員 丸山 大（国立がん研究センター中央病院・血液腫瘍科）（留任）

2. 報告事項

①2016年11月開催スキルアップセミナー中止の件

以前企画されていましたスキルアップセミナーは、新体制になって時間がないことや総会が地震の影響で開催時期が9月になったこと、前教育委員会との連絡の不備などあり、準備が難しいということで、委員会内で中止の決定をし、理事会に報告し、承認された。各講演者にはご報告とお詫びを申し上げた。

②若手医師のためのリンパ腫セミナー（改訂第2版）（南江堂）の出版の件

若手医師だけでなく、リンパ腫に興味のあるすべての方々にアピールするために「リンパ腫セミナー：2016年改訂WHO分類が分かる」日本リンパ網内系学会編と題名を変更、それに伴って、中村栄男先生に、2016年改訂WHO分類の変更点、WHO分類の将来展望といった内容で、1章追記していただくことを了承いただいた。そして、新たな見積もりを基本として出版するということを理事会に報告、承認された。

3. 審議事項

①2016年度のスキルアップセミナー

第2回リンパ腫分子病態研究会を2017年1月27日から29日まで、松江で開催予定である。この会とスキルアップセミナーを共催の形にして、1月28日、29日で、松江で開催する計画を考えている。共催にすることは、教育委員会での議論の上、承認いただいているの

で、理事会に図りたいと考えている。ご審議いただきたい点は、セミナーの内容です。①進展するリンパ腫の分子病態のあらましを整理することは大切と考えています。そこで、先生方に、講演のタイトルならびに演者を推薦していただきたい。参加者から参加費をとるので、会場費ならびに演者へは旅費ならびに薄謝ですが、講演料を支払いたいと考えている。また、正式な会の前日（1月26日）に、製薬会社と共に講演会を実施する予定である。そのためセミナー自体は、製薬会社からの支援をうけずに自由な内容で開催することが可能となっている。参考資料として、リンパ腫分子病態研究会会則（会長 大島孝一、副会長 竹内賢吾）ならびに第1回リンパ腫分子病態研究会（癌研）のプログラムを添付している。

具体的な内容に関しては、検討が必要であるがこの形式での開催することを再確認した。具体的な内容はメーリングリストでの議論とする。

②2017年度総会（三浦偉久男先生会長、東京・京王プラザホテル）で、開催予定の第10回若手医師のためのリンパ腫セミナー

資金援助する製薬会社との関係で、かなり限られたものになる可能性が高い、具体的にはホジキンリンパ腫、PTCLなどになる。審議の結果、ホジキンリンパ腫にフォーカスをあてるにした。ホジキンリンパ腫の基礎から最新の情報までをわかりやすく伝える会にしたい。講演者などの具体案は、メーリングリストで決定していく。また、次期会長の三浦先生の意向もあるが、若手に限らず、興味のあるかたへの参加を認めてはどうか。資金援助する製薬会社ならびに次期会長の三浦先生とも再度確認をすることとした。

3. その他

来年度のセミナー（スキルアップ）。具体的には11月に、場所は東京およびその近郊が集まりやすい。国立がん研究センターの会議室を使えるかどうかは丸山先生が、川越での開催の可能性を田丸先生に検討していただくことになった。